



陽炎に  
かげろう



永き日や  
ながひ



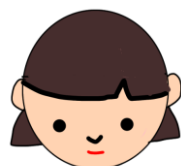
土筆煮て  
つくしに



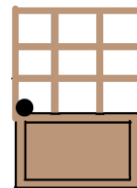
手に満つる  
てみ



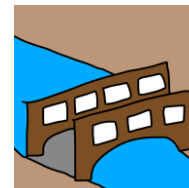
人に貸して  
ひとか



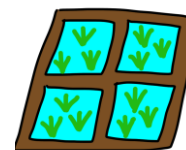
子どもらも  
こ



梅が香に  
うめか



春の野辺  
はるのべ



蛙啼く  
かえるな

俳句  
はいく

春  
はる

蟹の泡ふく干潟かな  
かにあわひがた

欠伸うつして別れ行く  
あくびわかゆ

飯くふ夜の台所  
めしうよるだいどころ

蜩うれしや友を呼ぶ  
しじみともよ

我に傘なし春の雨  
われかさはるあめ

頭に浴びる甘茶かな  
あたまああまちゃ

障子開けば月夜哉  
しょうじひらつきよかな

橋なき川へ出でにけり  
はしかわいでにけり

田の水うごく月夜かな  
たみずつきよ